

厚生労働省指針13物質
文部科学省基準6物質
非配合
非トルエン・非キシレン
クロムフリー

無鉛

F★★★★

2液水性速乾ウレタン床用塗料

フローンヌルサット
フローンヌルサットクリヤー

NEW

NULL SATTO SERIES

汚れ
にくい

速乾

簡単!

環境に
優しい

耐アルコール
(クリヤー)

2液水性速乾ウレタン床用塗料

フローナルサット

水性

低臭

防塵

艶有

簡単

- ①電動の攪拌機が無くても簡単に攪拌できます。
- ②既存塗膜にプライマーなしで密着します。

※既存塗膜への密着性は一覧表(P2)を参照してください。

速乾

施工後8時間で
フォークリフト走行

OK!
(23°C)

汚れにくい

フォークリフトが
走行しても傷や汚れが
付きにくいです

用途



店舗の床

工場

倉庫

内外部廊下

駐車場

適用下地

内外部モルタル・コンクリート床面・既存塗膜の塗替え

※アスファルトコンクリート面には施工できません。
※タイヤ接地面は剥離する可能性がありますので下地の研磨処理は念入りに行ってください。

色相 色相は色見本帳をご参照下さい。

常備色(6色)、標準色(15色)※受注生産、指定色

常備色(6色)

A-1	マスカットグリーン
A-2	エメラルドグリーン
A-3	フレッシュグリーン
A-4	フォックスグレー
A-5	サンドベージュ
A-6	スカーレットブラウン

標準色(15色) ※受注生産

B-4	ムーングレー	B-15	キャメルイエロー	B-22	マイルドグリーン
B-5	シルバーグレー	B-16	チャイナベージュ	B-23	ウォーターブルー
B-6	ハンターグリーン	B-18	ラインイエロー	B-24	ハーベストブラウン
B-7	セメントグレー	B-20	ライトグレー	B-25	マリンブルー
B-12	ライトベージュ	B-21	アーモンドブラウン	B-26	ゴールドンイエロー

指定色

イエロー・赤系等の明度及び彩度の高い色は、隠ぺい性が低いので上塗り工程1層目に共色(調色品:白=1:1混合品)の塗装をおすすめします。また、下地の色、凹凸の状況、下地の吸い込み等の条件によっては、上塗り工程が標準塗装回数より多くなる事があります。

簡 単

ご使用方法(フローンナルサット、フローンナルサットクリヤー共通)

フローンナルサットシリーズは電動攪拌機が無くても攪拌できます(例:フローンナルサット13.2kg、フローンナルサットクリヤー14kgの場合)

<p>1 必ず目荒しをします※</p> <p>#180 #180 #180 #180 旧塗膜面</p>	<p>2 A液のフタを開けます</p> <p>A液</p>	<p>3 B液を開け口から全量投入します</p> <p>B液 A液</p>	<p>4 水道水を用意します</p> <p>500mℓ 500mℓのペットボトル1本分</p> <p>水</p> <p>※フローンナルサット 3.3kg フローンナルサットクリヤー 3.5kgの場合、140mℓ</p>
<p>5 B液の缶に用意した水道水を入れて良く振ります</p> <p>B液</p>	<p>6 5をA液に入れます</p> <p>B液 A液</p>	<p>7 きっちりフタをしてA液の缶を逆さまに15回、元に戻して15回合計30回良く振ります</p> <p>A液</p> <p>(注)</p>	<p>8 缶の天板を皮スキなどで切ってご使用下さい</p> <p>フローンナルサット</p> <p>完成!</p>

※サンドペーパーを使用する際は、コンクリート・モルタル面で#60~80、既存塗膜の塗替えで#180~240を推奨します。
※小分けをしてご使用の際はフローンナルサットは10:1、フローンナルサットクリヤーは6:1の配合比(重量比)で計量してください。
(注)A液、B液の混合、攪拌の際は、塗装に使用する刷毛やローラーを使用しないでください。

手を切らないように
気をつけて下さい



←QRコードより動画で
実際の攪拌方法をご覧ください。

塗替えはプライマー不要 研磨のみでOK



必ず目荒しをします。



もちろんポリッシャーでもOK。



■既存塗膜への密着性

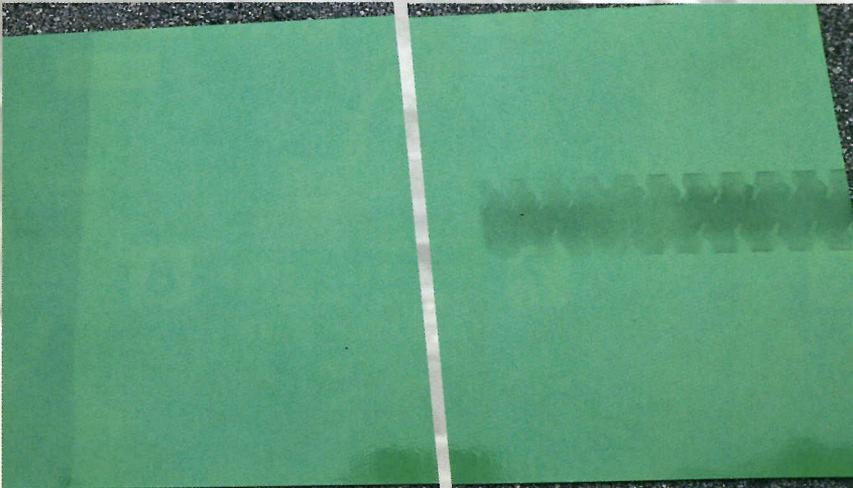
商品名	ナルサット	商品名	ナルサット
フローン50・55	○	アースフローンR	○
フローンエポローラー	○	アースフローン水性	○
フローン22	○	フローンアクアエポ	○
フローンフルトップ	○	フローンナルサット	○
フローンクイックF	○	ハイフローン	○
エポエース	○	水性フロアー	○
ソルエポ90	○	フローンアクアファースト	○
AUコート	○		

※既存塗膜は必ず目荒しを行ってください。

速 乾

施工後8時間(23℃)でフォークリフト走行OK!
開放が早いので業務への負担が低減!

フローンヌルサット塗布 一般2液水性ウレタン塗料



汚れにくい

フォークリフトが走行しても傷や汚れが付きにくく、長期にわたって美観維持が出来ます。

2液溶剤塗料を上回る耐汚染性!

施工1ヵ月後



施工半年後



容量・配合比・塗装面積

品名	容量			配合比(重量比)		標準塗装面積
	A液	B液	セット	A液	B液	
フロンナルサット	12kg	1.2kg	13.2kg	10	1	0.15kg/m ² 回塗りで44m ²
	3kg	0.3kg	3.3kg	10	1	0.15kg/m ² 回塗りで11m ²

標準工法

工法名	工程	材料名	使用量 kg/m ²	上塗可能時間 (23℃)	備考
◇コーティング工法 (総合塗膜厚約0.2mm) 	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フロンNSプライマー ※1	0.15	2~48時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	フロンナルサット 水道水	0.15 0.006	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	フロンナルサット 水道水	0.15 0.006	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
◇強化コンクリート面コーティング工法 (総合塗膜厚約0.2mm) 	1	素地調整 ※2	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フロンエコプラ速乾	0.15	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	フロンナルサット 水道水	0.15 0.006	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	フロンナルサット 水道水	0.15 0.006	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
◇既存塗膜面の塗り替え (総合塗膜厚約0.2mm) 	1	素地調整	—	—	既存塗膜の浮き・ハガレ部はケレンし、除去する。また、汚れ・油分・ワックスは除去し、必ずサンダー・ポリッシャー等で目荒しを行う。
	2	フロンナルサット 水道水	0.15 0.006	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	フロンナルサット 水道水	0.15 0.006	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
◇プラチップ仕上げ (総合塗膜厚約0.9mm) 	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フロンNSプライマー ※1	0.15	2~48時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	フロンナルサット フロンプラチップ 水道水	0.15 0.0075 0.006	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈したフロンナルサット1に対し、フロンプラチップを5%計量、混合、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	フロンナルサット フロンプラチップ 水道水	0.15 0.0075 0.006	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
◇防滑(追吹付)工法 (総合塗膜厚約1.2mm) 	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フロンNSプライマー ※1	0.15	2~48時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	フロンナルサット 水道水	0.15 0.006	直後	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	フロンシリカ砂6号 または7号(追吹付)	0.3	2~48時間	工程3の直後、リシガン(口径3~4mm)にてフロンシリカ砂6号または7号を散布。硬化後、余剰なフロンシリカ砂を除去。
	5	フロンナルサット 水道水	0.2 0.008	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	6	フロンナルサット 水道水	0.2 0.008	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	

※1 吸い込みが激しい場合は、再度フロンNSプライマーを塗布してください。また、フロンNSプライマーに使用したローラー、ハケ等は、フロンナルサットと共用しないでください。一般的なコンクリート面には、フロンエコプラ速乾もご使用になれます。緻密なコンクリートの場合は剥離の可能性があるため、フロンエコプラ速乾での密着試験を推奨いたします。

※2 強化コンクリート面に塗布する際は、必ずサンドペーパー(#40~80)付きポリッシャー等で表面のゴミ、汚れ、ホコリ、ワックス等を完全にに取り除いてください。
 ・コンクリート表面強化剤が塗布されている場合は、剥離の可能性があるため、フロンエコプラ速乾での密着試験を推奨いたします。

2液水性速乾ウレタンクリアー床用塗料

フローンヌルサット クリアー 艶有・艶消

水性

低臭

防塵

抗菌

UV
カット

耐
アルコール

フローンヌルサットに待望のクリアーが誕生!!

性能はそのままに、様々な下地に対して
クリアー仕上げが可能となりました。

塗膜の保護クリアーとしても、フォークリフト走行時のタイヤ痕や
歩行時のヒールマーク付着を抑制します。

また、消毒用のアルコールに対しても耐性があるクリアー床材です。

用途



適用下地

内外部モルタル・コンクリート床面・磁器タイル、各種塗膜の
保護コーティングなど

※アスファルトコンクリート面には施工できません。
※刷毛引き仕上げのコンクリート面には施工できません。
※タイルには種類がありますので事前の密着テストで適用できるか確認を行ってください。
※タイヤ接地面は剥離する可能性がありますので、下地の研磨処理は念入りに行ってください。

防塵+汚れにくい

下地の風合いを残しつつ耐汚染性向上

コンクリート下地



下地の風合いを残しつつ耐汚染性向上

コーヒーを垂らし、30分放置した後ウエスで拭き取った際の汚染性比較

防滑仕上げが可能



フローンクリアー塗料用骨材を使用することにより、クリアー防滑仕上げが可能となります。

抗菌効果

抗菌性試験 抗菌効果試験 (JIS Z 2801に準ずる)



飲食店の床や食品工場、幼稚園などに最適です。

■既存塗膜への密着性

商品名	ヌルサットクリアー	商品名	ヌルサットクリアー
フローン50・55	○	アースフローンR	×
フローンエポローラー	○	アースフローン水性	×
フローン22	×	フローンアクアエポ	○
フローンフルトップ	○	フローンヌルサット	○
フローンクイックF	○	ハイフローン	×
エポエース	○	水性フロアー	○
ソルエポ90	○	フローンアクアファースト	○
AUコート	×		

容量・配合比・塗装面積

品名	容量			配合比(重量比)		標準塗装面積
	A液	B液	セット	A液	B液	
フロンナルサットクリヤー 艶有・艶消	12kg	2kg	14kg	6	1	0.15kg/㎡3回塗りで31.1㎡
	3kg	0.5kg	3.5kg	6	1	0.15kg/㎡3回塗りで7.78㎡

◆防滑用骨材

フロンクリヤー塗料用骨材 容量1kg、0.3kg
(珪砂6号相当)



標準工法

No	工法名	工程	材料名	使用量(kg/㎡)	上塗り可能時間(23℃)	備考
1	◇クリヤーコーティング工法 (総塗膜厚約0.15mm) 	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
		2 (吸込み止め)	フロンナルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	2~48時間	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で3.5%希釈、攪拌後、中毛ローラー※3、ハケにて塗布。
		3	フロンナルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	2~48時間	
		4	フロンナルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
2	◇クリヤー仕上げ工法(塗膜保護) 	1	素地調整	—	—	
		2	各種プライマー	各製品の仕様に従って下さい。ご使用の際は必ず各カタログをご参照下さい。		
		3	各種塗膜 ※1	各製品の仕様に従って下さい。ご使用の際は必ず各カタログをご参照下さい。		
		4	フロンナルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	2~48時間	
		5	フロンナルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
3	◇防滑(追吹付)工法 (総塗膜厚約1.0mm) 	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照ください。
		2 (吸込み止め)	フロンナルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	2~48時間	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で3.5%希釈、攪拌後、中毛ローラー※3、ハケにて塗布。
		3	フロンナルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	直後	
		4	フロンクリヤー塗料用骨材 ※2	0.02~0.03	2~48時間	工程3の直後、リシガン(口径3~4mm)にてフロンクリヤー塗料用骨材を散布。
		5	フロンナルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で3.5%希釈、攪拌後、中毛ローラー※3、ハケにて塗布。
4	◇磁器タイル面コーティング工法 (総塗膜厚約0.1mm) 	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照ください。 タイル面には汚れなど、密着不良となる原因物質が付着している可能性がありますので、必ず研磨、高圧洗浄および脱脂等の素地調整を行ってください。
		2	フロンナルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	2~48時間	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で3.5%希釈、攪拌後、中毛ローラー※3、ハケにて塗布。
		3	フロンナルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
5	◇磁器タイル面防滑工法 (総塗膜厚約1.0mm) 	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照ください。 タイル面には汚れなど、密着不良となる原因物質が付着している可能性がありますので、必ず研磨、高圧洗浄および脱脂等の素地調整を行ってください。
		2	フロンナルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	直後	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で3.5%希釈、攪拌後、中毛ローラー※3、ハケにて塗布。
		3	フロンクリヤー塗料用骨材 ※2	0.02~0.03	2~48時間	工程2の直後、リシガン(口径3~4mm)にてフロンクリヤー塗料用骨材を散布。
		4	フロンナルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で3.5%希釈、攪拌後、中毛ローラー※3、ハケにて塗布。

※1.クリヤーが塗装可能な塗料・塗膜については一覧表(P5)を参照してください。

※2.クリヤー塗料である為、骨材は必ず専用骨材をご使用ください。

※3.艶消は、ハイバイルローラーで施工するとムラになりますので、ウーブンローラーをご使用ください。

●**緻密なコンクリート、強化コンクリートの場合、ナルサットクリヤーは施工出来ません。**

●コンクリートの状態によっては濡れ色むらになる場合があります。またタイルの目地部がモルタルの場合、塗装することにより風合い・艶が変わる場合がありますので、事前に試験を推奨いたします。

●吸込みが大きい下地に塗装する際には、吸込みが止まるまで複数回塗装をしてください。

●素地や塗膜のクラック等、欠損部からの水の侵入や、素地背面からの水の侵入があった場合、塗装部が濡れ色になる場合があります。

■耐薬品性

試験項目	結果		試験条件
	フローン ヌルサット	フローン リカグリアー	
耐水性	◎	◎	水道水、1ヶ月浸漬
耐塩水性	◎	◎	20%塩水、スポット試験48時間
耐溶剤性	◎	○	トルエン、スポット試験48時間
	○	◎	キシレン、スポット試験48時間
耐酸性	◎	◎	10%塩酸、スポット試験48時間
	◎	◎	10%硫酸、スポット試験48時間
	◎	◎	10%硝酸、スポット試験48時間
	○	○	10%酢酸、スポット試験48時間
耐アルカリ性	◎	◎※	10%苛性ソーダ、スポット試験48時間
	◎	◎	10%アンモニア、スポット試験48時間
耐生活材性	○	◎	0.1%次亜塩素酸ソーダ、スポット試験48時間
	◎	◎	飽和砂糖水、スポット試験48時間
	◎	◎	醤油、スポット試験48時間
耐油性	◎	◎	ソース、スポット試験48時間
	◎	◎	サラダ油、スポット試験48時間
	◎	◎	灯油、スポット試験48時間
	◎	◎	エンジンオイル、スポット試験48時間
	◎	◎	切削油、スポット試験48時間

◎=異常なし / ○=やや艶引け、白化 スポット試験はJIS A 5705に準拠 ※艶消はやや変色します。
●フローン仕上げ工法(塗膜保護)における耐薬品性能は下地の塗膜の影響を受ける可能性があります。
試験結果は弊社における試験に基づくもので保証ではありません。

■性状・物性

試験項目	試験結果	試験条件
外観	A液 着色粘稠液 B液 透明粘稠液	
引っかき硬度	2H	JIS K 5600鉛筆法
耐摩耗質量	50mg	JIS K 7204テーバー式 摩耗試験機、 CS-17 9.8N 回転数1000回転
鏡面光沢度	80(艶有) 5(艶消)	JIS K 5600入射角60度
耐候性	異常なし	S-W-O-M 500時間
ホルムアルデヒド放散等級	F★★★★	JIS K 5601-4-1

■乾燥性

温度	10℃	23℃	30℃
可使時間	3時間	2時間	1.5時間
上塗り可能時間	3時間	2時間	30分
歩行可能時間	5時間	2時間	2時間
重作業可能時間	18時間	8時間	7時間

◆施工上の注意事項

- 下地は砂、ゴミ、ホコリ、油等を完全に除去して下さい。また、新設コンクリート・モルタルの表面には、レイトンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ずワイヤー付きリッシャー等でレイトンス層を完全に除去して下さい。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフルレ・硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良を招く場合があります。コンクリート・モルタルは打設後、**常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。**目安として、含水率が高周波水分計ケツ社製HI-500・HI-520で測定し、**コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下**になってから施工して下さい。また、降雨直後で下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
- コンクリート・モルタルに発生した亀裂は、Uカットして、フローンエポパテ等を充填し、亀裂面が平滑になるように研摩して下さい。フローンヌルサットフローンエポパテ等の補修剤を隠べいすることができません。ご注意ください。
- アスファルトコンクリート面には施工しないで下さい。
- 2液反応硬化型ですから、配合比を厳守して下さい。A液・B液を規定の割合で計量、混合し、十分に攪拌して下さい。不十分ですと、塗膜性能が十分に発揮されない恐れがあります。
- B液はキャップ口からのみの添加では、規定量を配合することは困難です。中身を出したB液の缶の中に希釈用の水道水を投入し、しっかりと振って完全に中身を出し切して下さい。
- 規定量以下の配合では、塗膜性能が十分に発揮されない恐れがあります。
- 築地の水もれ、屋外での雨天時の施工は塗膜の剥離、硬化不良の原因となりますので絶対に避けて下さい。
- 2液反応硬化型ですから、2時間以内に使い切して下さい。2時間を越えたものは塗膜に欠陥を生じますから絶対に使用しないで下さい。
- 施工後23℃では、2時間程度経過後、歩行可能となります。ただし、**この時間帯は、温度、使用量、換気状態によって変化しますのでご注意ください。**
- ご使用になる環境を充分に考慮して適正な材料と施工法を決定して下さい。
- きれいに仕上げる為に、中毛ローラーにてタテ、ヨコ(十字)で塗装して下さい。
- 厚塗りした場合、重量物により凹みを生じる可能性があります。標準塗布量を厳守して下さい。
- フローンNSプライマーに使用したローラー、ハケ等はフローンヌルサットと共用しないで下さい。他の容器に移す場合は、プラスチック容器を使用して下さい。金属を利用すると、錆が発生する可能性があります。

- 表面乾燥が早く、皮はりをしやすいため、開封後は速やかに使い切して下さい。
- 床面に貼り付けたラインテープ等を除去する際、塗膜が剥がれる場合があります。
- ゴム製品やタイヤなどが長時間接触していると、汚染が生じたり塗膜が剥がれることがあります。
- 床暖房やロードヒーティング床面には塗装しないで下さい。剥離や雪解けが悪くなるなどの不具合が生じる場合があります。
- 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。

10℃以下 硬化後退 (カブリ、しわ、軟化発生)	15~25℃ 最適	30℃以上 硬化促進 (ポットライフ短縮)
--------------------------------	--------------	-----------------------------

- 硬化時間、硬化後の性能は施工時の温度に大きく影響されます。また、施工時の環境が悪い場合(低温時、換気が充分でない室内)は塗膜に欠陥(ヒビ割れ、硬化不良等)が発生する恐れがありますので、窓、ドアを開放する、又は送風機等を使用し、換気を良くして下さい。
- 施工時には引火、爆発、中毒等の事故防止のため、充分な換気をし、発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
- 直接皮膚に触れないように十分に注意して下さい。もし、触れた場合は、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
- フローンヌルサットシリーズは、水を希釈剤としているため、凍結する恐れがあります。凍結したものは、正常な塗膜が得られないことがあるため、凍結させないように保管して下さい。
- 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき充分な管理をお願いします。
- 動物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行ってください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。容器、塗装具などを洗浄した廃液は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業処理業者に処理を依頼して下さい。
- フローン層の摩耗によって下地本来の艶が露出する可能性があります。
- 艶消は、使用頻度により経時で艶が発生することがあります。
- 追吹付工法は、光の当たり具合によっては塗装ムラ(吸い込みムラ)やフローン砂粒の撒きムラが目立つ場合があります。

引火性あり	警告	有害性あり	感作性あり
	<ol style="list-style-type: none"> 引火性の液体である。 有機溶剤中毒の恐れがある。 健康に有害な物質を含有している。 皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。 		
業務用	<p>《注意事項》</p> <ol style="list-style-type: none"> 通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので取扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。 アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) <p>※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。</p>		

●お問い合わせは・・・

東日本塗料株式会社



本社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。

URL <https://www.hnt-net.co.jp> CATALOG NO.8 '22.04.3000